世羅町立甲山中学校ホームページをご覧いただきありがとうございます。本校は、昭和 41（1966）年に旧甲山町内の４つの中学校（甲山中学校・宇津戸中学校・三川中学校・東中学校）が統合し、新生「甲山中学校」として校訓「自主・友愛・開拓」のもと、本年度で 60 年の節目を迎えます。

当時の正門脇（現在は、平成 16 年の新校舎落成により裏門となる。）には、明治 17（1884）年に広島県世羅郡三川村（現・世羅町）に生まれ、その生涯を女子教育に捧げた大妻コタカ先生（大妻女子大学創設者）の書かれた「愛郷崇祖（郷土を愛し、祖先を敬う心）」の碑が建てられていることからも、その歴史と地域の皆様の本校に対する熱い思いが伺えます。

現代社会は、「VUCA（ブーカ）時代が到来した社会」と言われています。「VUCA」とは、「不安定（Volatility）で、不確定（Uncertainty）な要素があり、複雑（Complexity）で曖昧（Ambiguity）であること」を意味しています。世界規模で生起したコロナ禍によるパンデミックに象徴されるように、「何が正しく、何が誤りなのか誰も分からない」…そういう時代・社会であり、多様化する価値観の中で、将来の変化を予測することが極めて困難な時代・社会であると捉えることができます。

このような時代・社会を逞しく生き抜くための資質・能力を育み、生涯にわたって探究し続ける未来の創り手・担い手として子供達を送り出していくという学校教育の責任は、これまで以上に大きいと考えます。

こうした中、本校の教育活動では次の３点に重点を置きながら教職員が一丸となって取り組んで参ります。地域・保護者の皆様方におかれましては、引き続き、本校へのご支援・ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

① 授業改善 校区内の２つの小学校と連携しながら、生徒の思考力・判断力や表現力の育成を目指した授業改善に取り組みます。

② 不登校対策 不登校をはじめとした集団生活に対する困り感を持つ生徒への特別な支援を目的に不登校ＳＳＲ（スペシャル・サポート・ルーム）を開設し、不登校の未然防止や不登校等生徒に対する支援の強化・充実を図って参ります。

③ コミュニティ・スクールの取組、学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域の皆様方と協働しながら「地域とともにある学校づくり」を推進するとともに、「学校を核とした地域づくり」に貢献して参ります。

令和７年４月吉日　世羅町立甲山中学校長　杉本　克之